

(様式第9 別紙2:公開版)

## 養成技術者の研究・研修成果等

1. 養成技術者氏名: 西願 雅也

2. 養成カリキュラム名: 技術経営研究

3. 養成カリキュラムの達成状況

以下、細目ごとの概要と、それぞれの達成度を記載。

(1) 技術シーズの発掘

13案件の技術シーズ発掘を達成

達成度: 高

(2) 実用化研究支援および資金調達

8案件における実用化研究支援、2案件に対する資金調達支援を達成

達成度: 高

(3) 特許申請・管理業務および知財戦略策定

大阪TLO全特許案件のデータベース化、5案件に対する知財戦略策定を達成

達成度: 高

(4) 技術シーズの事業化

4案件に対する事業化支援、1案件の大学発ベンチャー設立を達成

達成度: 高

(5) 講演会・起業家育成セミナーの開催

大阪大学内外の学生有志に対する知財・技術移転・大学発ベンチャーについての説明会を定期的で開催。今後大阪大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーにベンチャー創出・起業家育成プラットフォームを構築予定

達成度: 中

4. 成果 (A4版3枚程度)

(1) 技術シーズの発掘

大阪大学において、ナノ加工計測融合技術案件、歯科用インプラント手術支援シミュレーション技術案件、インターネットのQoS(通信品質)保証技術案件、プロテインチップ技術案件、代謝系蛋白質の新規用途案件、脳神経系蛋白質の新規用途案件、ヒ素汚染土壌の浄化技術案件、不正コード・不正処理発見プログラム案件、ポインティングデバイス案件、新規楽器案件、糖尿病の合併症発祥リスク診断案件、超音波センサー案件、酸化物ナノホールアレイ案件の、計13案件に対するヒアリングを行った。

(2) 実用化研究支援および資金調達

ナノ加工計測融合技術案件、歯科用インプラント手術支援シミュレーション技術案件において、

研究開発資金調達支援を行った。

また、ナノ加工計測融合技術、歯科用インプラント手術支援シミュレーション技術、インターネットのQoS(通信品質)保証技術、代謝系蛋白質の新規用途、脳神経系蛋白質の新規用途、不正コード・不正処理発見プログラム案件、糖尿病の合併症発祥リスク診断案件、酸化物ナノホールアレイ案件の、計8案件における実用化研究開発の進捗管理および、共同研究の仲介・委託研究先の選定・確保を行った。

### (3)特許申請・管理業務および知財戦略策定

知財に関する大阪TLO内部研修を受講し、大阪TLOが取り扱う全ての案件の知財データベース化を行い、知財管理に運用。

東京大学先端科学技術研究センター・CASTIが主催するTLO技術移転実務者研修に参加。実践的なライセンス実務の研修を受ける。

新規開拓5案件の特許調査を行い、その分析結果を基に特許マッピングを行った。

ナノ加工計測融合技術、歯科用インプラント手術支援システム案件、インターネットのQoS(通信品質)保証案件、酸化物ナノホールアレイ案件、不正コード・不正処理発見プログラム案件の計5案件における知財戦略の立案を行った。

### (4)技術シーズの事業化

ナノ加工計測融合技術、歯科用インプラント手術支援シミュレーション技術、インターネットのQoS(通信品質)保証技術、不正コード・不正処理発見プログラム案件の、計4案件における市場調査および事業計画の策定を行った。

歯科用インプラント手術支援シミュレーション技術案件は平成15年11月に大学発ベンチャーを設立という形で事業化に成功、大阪TLO初の大阪大学へのライセンス収入還元実績を生む案件となる予定(現在ライセンス契約中)。

### (5)講演会・起業家育成セミナーの開催

大阪大学経済学研究科において、大学における技術移転、ベンチャー立ち上げ支援などの活動報告を行った。

あわせて、同研究科内の学生有志に対して、知財に関するセミナーを開催し、技術移転の勉強会を定例的(月1~2回)に開催できるように組織化した。

大阪大学・立命館大学の学生有志に対して、知財・大学発ベンチャー・プロジェクトマネジメントに関する勉強会を定期的に行い、起業家を育成するための土壌を養った。

大阪大学ベンチャー・ビジネス・ファクトリーにおいて、大学発ベンチャー創出・起業家育成のプラットフォーム造りに着手した。

## 5. 成果の対外的発表等

### (1)論文発表(論文掲載済または、査読済を対象、コピーを添付)

西願雅也・佐藤大吾・木村景一、「大学からの技術移転とプロジェクトマネジメント」、プロジェクトマネジメント学会誌、Vol.6、No.1、Feb.2004

( 2 ) 口頭発表 ( 発表済を対象、予稿集のコピーを添付 )

該当なし

( 3 ) 特許等 ( 出願番号を記載 )

該当なし